

亜くろいし 市議会だより

創刊号

平成25年6月1日発行

発行：黒石市議会 〒036-0396 青森県黒石市大字市ノ町1番地1号 TEL 0172-52-2129 FAX 0172-53-7410
ホームページ http://www.city.kuroishi.aomori.jp/City_Assembly/CA_Menu.html



「市民にひらかれた議会をめざして」

黒石市議会では市民の皆さんに広く議会のことを知っていただくため「黒石市議会だより」を発行することになりました。これまで市議会では議会改革推進委員会を設置し議会改革に取り組んでまいりました。議会改革の一環として発行するこの議会だよりは、議員で組織した議会だより編集委員会が中心になって作成するもので、年4回の発行を予定しております。このたび初めて発行する創刊号には、さきに行われた3月議会で審議された議案や一般質問などの内容を掲載しております。今後も市民にわかりやすい議会だよりを目指しますので、どうかご愛読のほどよろしくお願いたします。

議長 中田 博文

目 次

議会の構成	2
議会の概要	3
市政に対する一般質問	3～6
定例会の議決結果と各党派賛否一覧	7
議会からのお知らせ	8

議会の構成

(議員の任期：平成 23 年 5 月から平成 27 年 4 月)

自民・公明クラブ

 中田 博文 議長	 北山 一衛 副議長			
 村上 隆昭 (浅瀬石 4) 会長	 工藤 俊広 (岩木町) 副会長	 北山 一衛 (浅瀬石 8) 幹事長	 大溝 雅昭 (元 町) 副幹事長	 大久保 朝泰 (三島 2) 事務局長
 工藤 和行 (追子野木 3) 会計	 中田 博文 (境松 1)	 村上 啓二 (派立子)	 今井 敬 (追子野木 1)	 黒石 ナナ子 (南中野)

黒石市民クラブ

 佐々木 隆 (浦町 2) 会長	 山田 鉦一 (福 民) 幹事長	 後藤 秀憲 (高賀野 2) 会計	 福士 幸雄 (中十川)	 工藤 和子 (派 村)
---	---	--	--	---

日本共産党



工藤 禎子
(二双子)



●常任委員会 (平成 25 年 5 月 1 日現在)

(議案等を詳しく審査するために設置され、各議員は必ずいずれかの委員会に属しています。任期は 2 年です。)

・総務教育

委員長	大溝 雅昭	副委員長	工藤 和行	委員	中田 博文
委員	工藤 禎子	委員	後藤 秀憲	委員	北山 一衛

・経済建設

委員長	大久保朝泰	副委員長	黒石ナナ子	委員	村上 隆昭
委員	工藤 和子	委員	山田 鉦一	委員	村上 隆昭

・民生福祉

委員長	工藤 俊広	副委員長	今井 敬	委員	村上 啓二
委員	佐々木 隆	委員	福士 幸雄	委員	村上 啓二

●議会運営委員会 (平成 25 年 5 月 1 日現在)

(議会が円滑に運営できるように、会議の進め方などを協議するため必要に応じて開かれます。任期は 2 年です。)

委員長	村上 隆昭	副委員長	大溝 雅昭	委員	黒石ナナ子
委員	今井 敬	委員	後藤 秀憲	委員	山田 鉦一

●広域連合・一部事務組合議会 (平成 25 年 5 月 1 日現在)

青森県後期高齢者医療広域連合議会議員	中田 博文
津軽広域連合議会議員	福士 幸雄 村上 隆昭
黒石地区清掃施設組合議会議員	工藤 和行 大溝 雅昭
黒石地区消防事務組合議会議員	大久保朝泰 工藤 和子

平成25年第1回定例会

平成 25 年第 1 回定例会は、3 月 6 日から 3 月 18 日までの 13 日間にわたって開かれ、市長提出の 7 報告・48 議案と議員提出の 3 議案を、いずれも原案どおり承認・報告・可決・同意しました。

また、黒石図書館づくり市民の会（須藤重昭会長）から提出された「黒石市立図書館設置条例」の制定を求める陳情を全会一致で採択しました。

各議案の議決結果と各会派の賛否一覧は 7 ページをご覧ください。

一般質問 市政を問う

一般質問は、3 月 12 日、13 日の 2 日間行われ、11 人の議員が市の諸問題についての質問をしました。



自民・公明クラブ

おおくぼ ともやす
大久保 朝泰 議員

問 観光大使事業の活動実績と成果、定期総会や交流会開催の考えは。

答 観光大使には、35 人を委嘱し全国各地で P R 活動にご尽力いただいています。一部有志の方々からは、全国でぐり回し選手権の副賞として「見聞遊学奨励金 10 万円」を寄贈していただきました。交流会は、東京黒石会の総会前後に懇談会を開催したいと考えています。

問 黒石市の小・中学校において、体罰の実態はどうか。

答 体罰の実態については、文部科学省から県教育委員会を通じて調査依頼がありました。黒石市では小・中学校において 2 月 1 日から 22 日まで児童生徒、保護者、教育職員に対してアンケート調査を実施し、県教育委員会へ報告しました。今後は、県教育委員会からの精査結果を待つて対応したいと考えています。



見聞遊学奨励金贈呈式



自民・公明クラブ

くろいし ななこ
黒石 ナナ子 議員

問 第 9 回羽州街道交流会黒石大会の具体的な開催計画は。

答 黒石大会では、大きな P R 効果が期待できるので、今年の 11 月上旬には羽州街道・脇街道を旅した「日本奥地紀行」で知られるイギリスの女性旅行家イザベラ・バードにちなんだ軌跡探訪会の開催、講演会やシンポジウムなどを企画しています。



中野もみじ山

問 2014 年は国際農家年、グリーンツーリズムを全市に。
答 現在、山形地区において県外の修学旅行生など農業体験や民泊などを実践しています。今年度は 16 軒の農家で 671 人を受け入れました。近年は参加する農家が減少しています。今後、受け入れ農家の拡大、販売戦略や P R 活動の強化など、できる限り支援していきます。



修学旅行生の農作業体験



自民・公明クラブ
おのみぞ まさあき
大溝 雅昭 議員

問 高齢者見守り・生活支援事業、生活習慣病予防モデル地区活動など25年度に計画している主要施策は。

答 高齢者見守り・生活支援事業は6つの事業で構成されています。単身高齢者宅に市の刊行物などを定期的に宅配する事業は全国に先がけて行う事業で、直接安否を確認するのが原則です。生活習慣病予防モデル地区活動は糖尿病患者の割合が高い西部地区に全保健師を投入し、検診受診率の向上や生活指導を行い、健康寿命・平均寿命アップにつなげていきます。



問 豪雪の被害状況積雪・降雪量の調査は。

答 気象庁による積雪・降雪量の観測施設がないため報道機関に当市の状況が反映されていません。県の調査で降雪量は69.4cm歴代4位、積雪深は180cmで過去最高。市街地除雪回数は今まで23回出動しました。



自民・公明クラブ
くどう かずゆき
工藤 和行 議員

問 福祉複合施設整備事業の財源内訳は。また、土地開発公社の解散のための3セク債の実質公債費比率への影響と今後の推移は。

答 事業費約1億6千600万円の内、国・県の補助金2千780万円、起債が1億1千440万円、一般財源が2千380万円となります。実質公債費比率は平成24年度末で23%台に、平成25年度決算で22%台になる見込み。3セク債を10億5千万円発行すると、償還開始の平成26年度で0.4、平成27年度で0.9、平成28年度以降は1.3ポイントの増となるが、当面22%台で推移する見込みです。

問 市民文化会館の再開先送りについて、弱者優先を理由の一つにした。市長は「断腸の思い」としたその決断に至った考えは。

答 福祉複合施設を優先したのは、現有施設の老朽化が著しく、利用者特に子どもたちの安全を確保する必要と、緊急性の高いことから決断しました。文化会館の再開は決してあきらめたわけではなく財政環境を整えながら一日でも早く実現したいと考えています。



市民文化会館

問 市社協での介護保険横領事件発生、市から助成を受け、地域の福祉増進を担い、住民の信頼の上に成り立つ組織であるはず。二度と再発させないための指導対応は。

答 人事配置を整え、管理体制を強化し、市民の信頼を取り戻すよう強く指導していきます。
問 全国的な医師不足の中、青森県は第二位で深刻な医師不足、当市でも医療事故発生、黒石病院の安全管理体制と医師不足の対応は。

答 弘大医学部等関係機関と連携強化、増員を要請中、また質の高い看護提供のため看護系職員の増員が必要で医師看護師確保にあらゆる方策を用いたいと考えています。



自民・公明クラブ
いまい たかし
今井 敬 議員



黒石病院

問 「国民皆保険制度」が揺らぐ中「国保税の地域間格差」も青森県では最大1.7倍に達し「保険料が高い」等不満の声が聞こえるが、当市における国保財政の見直しと国保税の見直しはあるのか。

答 インフルエンザ等大流行しない限り国保財政は黒字で推移していくものと考えており現状国保税見直し引き上げは考えていません。



黒石市民クラブ

ふくし ゆきお
福士 幸雄 議員

問 今後の小・中学校適正配置におけるいじめや不登校等さまざまな問題が心配されると思うが、中高一貫教育をどう考えているか。

答 できるだけスムーズに移行できるように、事前に交流会や交流学习など学校間の連携を図りたいと考えています。中高一貫教育については、一貫校の創設は難しいと思われませんが、実現が可能な調査していきます。

問 地域防災については。 **答** 今年度の一部の地区に自主避難組織が組織され、大変心強いと感じます。市民主導による自主防災組織が立ち上がることを期待

しています。避難所には案内板、発電機を設置しましたがさらに整備を図りながら、地区協議会との連携体制を構築していきます。



停電中でもテレビを視聴可能

問 津軽海峽圏観光推進の動きに対して、その対応は。 **答** JR 東日本や県観光連盟が協力的であり、地域間連携に配慮し、独自の施策と広域観光に努めていきます。

しています。避難所には案内板、発電機を設置しましたがさらに整備を図りながら、地区協議会との連携体制を構築していきます。



黒石市民クラブ

ささき ゆたか
佐々木 隆 議員

問 市外や県外、若者から見て魅力ある黒石をつくる必要がある。将来を見据えた定住対策として定住促進会議を設置してはどうか。

答 定住促進の施策は多方面に及んでいるため、それらを複合的に実施することが効果的であると考えています。第5次総合計画の進捗を評価・検証する総合計画審議会で検討していきますので、設置する考えはございません。

問 市の観光事業活性化のため、今後こみせの延長や増設など、市ではどのように考えているか。また、金平成園の公開後、こみせとの関連は。

答 こみせが連なる延長や増設については、地区住民の理解・協力が不可欠。町内が集まる機会において修理や修景の説明、協力の働きかけをしていきます。また、金平成園、盛美園、こみせ通りを結ぶ大石武学流の庭園めぐりの企画などを検討していきます。



金平成園



黒石市民クラブ

くどう かずこ
工藤 和子 議員

問 平均寿命全国ワースト1位の青森県、健康長寿市を目指している市の平均寿命は。

答 平成17年市町村別生命表では、市の男性の平均寿命は75・7歳、女性は83・9歳であり、県内ではそれぞれ下から8番目と2番目となっています。



問 県に対しての重点要望は。

答 若年層の死亡率を下げるのが最も効果的であるため、市では就学前児童の医療費無料化を実施しています。県に対して、市では義務教育終了まで実

施できるよう要望しているところです。

問 市の保健師と管理栄養士の状況と取り組みは。

答 市の保健師は、保健担当が9人、その他部門の2人の11人となっています。管理栄養士は現在1人ですが、学校の養護教員と協力しながら食育教育を実施しています。





問 通学路の総点検が行われたが、今後の安全確保の対策はどのようなになっているのか、危険箇所改善は地域の要望と即しているのか。

答 29カ所の安全対策を国の大型補正予算のメニューを活用して実施していきま

す。県道に関しては、地域要望と即していない所もありますので県と相談をしていきます。



問 適正配置時期の変更による耐震化、給食はどのようになるのか。廃校の活用については。

答 校舎の耐震化は、25年度で完了しますが体育館は、見直しをしていきたいと思いま

す。給食は、一斉実施を目指し総合的に判断。廃校の活用は、庁内連絡会議での協議や地区協議会の意見を聞いてまいります。

問 平成25年生産米の生産量250ト減になった経緯と取り組みは。

答 生産数量の減については、県からの指摘で現状に合わせた結果です。農家の不利益にならないよう津軽みらい農業協同組合と連携し、政府備蓄米で対応していきます。



問 青森県の新ブランド米の発表時期は。

答 平成25年度から2年間の試験栽培に入ることを青森県から確認しています。

問 配分基準単収決定時と販売出荷時のふり目の違いは。

答 東北農政局との意見交換の場合、昨年

から設けられているので直接国の見解を求めていきます。

問 農家の労働人口確保策と国の各種制度におけるパート雇用の要件緩和等については。

答 国の制度を活用して労働人口の確保に努めるほか、農業機械導入助成事業などを継続します。要件緩和等についても、国の見解を求めていきます。



問 聖域は守られない事態が明らかとなったが、TPP交渉参加に対する市長の見解は。

答 国内外の経済状況を考えると、ただ単に反対を唱えるだけでは問題の解決に至らない。今後の推移を見守りたいと思います。

問 生活保護基準の切り下げが今年8月から行われる。生活保護からはずれると介護保険料、国保税が発生したり、就学援助の適用除外も起こる。生活保護受給者のみならず、貧困の連鎖で生活が苦しくなる市民が増えるが黒石市の生活保護の現状と基準引き下げによる影響は。

答 生活保護受給者世帯数は、平成24年12

月時点で538世帯68人となっております。高齢者の世帯が51・2%母子世帯3・2%障がい者世帯が13・4%傷病者世帯が15・4%その他16・8%となっております。25年度は全く影響がありませんが27年度以降については若い夫婦子供世帯の全国モデルケースでは月1万6千円程度の減と母子世帯や高齢者世帯は月1万円くらい



自民・公明クラブ
くどう としひろ
工藤 俊広 議員



自民・公明クラブ
むらかみ けいじ
村上 啓二 議員



日本共産党
くどう ていこ
工藤 禎子 議員

第 1 回定例会の議決結果と各会派の賛否一覧 (○は賛成、●は反対)

番 号	件 名	会 派 名	自民・公 明クラブ 10人	黒石市民 クラブ 5人	日 本 共産党 1人	議決結果
議案第 1 号	黒石市情報公開条例の一部を改正する条例制定について		○	○	○	原案可決
議案第 2 号	黒石市公益的法人等への職員の派遣等に関する条例制定について		○	○	○	原案可決
議案第 3 号	黒石市特別職の職員の給料等に関する条例等の一部を改正する条例制定について		○	○	○	原案可決
議案第 4 号	黒石市一般職職員の給与の特例に関する条例の一部を改正する条例制定について		○	○	○	原案可決
議案第 5 号	黒石市児童館・児童センター条例の一部を改正する条例制定について		○	○	○	原案可決
議案第 6 号	黒石市未熟児養育医療費用徴収条例制定について		○	○	○	原案可決
議案第 7 号	黒石市姥懐霊園墓地条例制定について		○	○	○	原案可決
議案第 8 号	黒石市道路占用料徴収条例の一部を改正する条例制定について		○	○	○	原案可決
議案第 9 号	黒石市温泉供給事業条例の一部を改正する条例制定について		○	○	○	原案可決
議案第 10 号	黒石市都市公園条例の一部を改正する条例制定について		○	○	○	原案可決
議案第 11 号	黒石市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例制定について		○	○	○	原案可決
議案第 12 号	黒石市指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例制定について		○	○	○	原案可決
議案第 13 号	黒石市都市公園の配置及び規模並びに公園施設の建築面積の基準を定める条例制定について		○	○	○	原案可決
議案第 14 号	黒石市高齢者、障害者等の移動等の円滑化のために必要な特定公園施設の設置に関する基準を定める条例制定について		○	○	○	原案可決
議案第 15 号	黒石市下水道条例の一部を改正する条例制定について		○	○	○	原案可決
議案第 16 号	黒石市が管理する道路の構造の技術的基準及び道路標識等の設置基準を定める条例制定について		○	○	○	原案可決
議案第 17 号	黒石市布設工事監督者の配置基準及び資格基準並びに水道技術管理者の資格基準に関する条例制定について		○	○	○	原案可決
議案第 18 号	損害賠償の額の決定について		○	○	○	原案可決
議案第 19 号	市道の路線認定について		○	○	○	原案可決
議案第 20 号	黒石地区消防事務組合の解散について		○	○	○	原案可決
議案第 21 号	黒石地区消防事務組合の解散に伴う財産処分について		○	○	○	原案可決
議案第 22 号	弘前地区消防事務組合への加入について		○	○	○	原案可決
議案第 23 号	黒石市消防団事務の委託の廃止について		○	○	○	原案可決
議案第 24 号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて		○	○	○	同 意
議案第 25 号	平成 24 年度黒石市一般会計補正予算 (第 13 号)		○	○	○	原案可決
議案第 26 号	平成 24 年度黒石市国民健康保険特別会計補正予算 (第 2 号)		○	○	○	原案可決
議案第 27 号	平成 24 年度黒石市後期高齢者医療特別会計補正予算 (第 2 号)		○	○	○	原案可決
議案第 28 号	平成 24 年度黒石市介護保険特別会計補正予算 (第 3 号)		○	○	○	原案可決
議案第 29 号	平成 24 年度黒石市観光施設事業特別会計補正予算 (第 2 号)		○	○	○	原案可決
議案第 30 号	平成 24 年度黒石市国民健康保険黒石病院事業会計補正予算 (第 3 号)		○	○	○	原案可決
議案第 31 号	平成 25 年度黒石市一般会計予算		○	●	●	原案可決
議案第 32 号	平成 25 年度黒石市国民健康保険特別会計予算		○	○	●	原案可決
議案第 33 号	平成 25 年度黒石市後期高齢者医療特別会計予算		○	○	○	原案可決
議案第 34 号	平成 25 年度黒石市姥懐霊園墓地特別会計予算		○	○	○	原案可決
議案第 35 号	平成 25 年度黒石市介護保険特別会計予算		○	○	●	原案可決
議案第 36 号	平成 25 年度黒石市観光施設事業特別会計予算		○	●	●	原案可決
議案第 37 号	平成 25 年度黒石市簡易水道特別会計予算		○	○	○	原案可決
議案第 38 号	平成 25 年度黒石市温泉供給事業特別会計予算		○	○	○	原案可決
議案第 39 号	平成 25 年度黒石市農業集落排水事業特別会計予算		○	○	○	原案可決
議案第 40 号	平成 25 年度黒石市土地取得特別会計予算		○	○	○	原案可決
議案第 41 号	平成 25 年度黒石市国民健康保険黒石病院事業会計予算		○	○	○	原案可決
議案第 42 号	平成 25 年度黒石市水道事業会計予算		○	○	○	原案可決
議案第 43 号	平成 25 年度黒石市下水道事業会計予算		○	○	○	原案可決
議案第 44 号	平成 25 年度黒石市中川財産区会計予算		○	○	○	原案可決
議案第 45 号	平成 25 年度黒石市上十川財産区会計予算		○	○	○	原案可決
議案第 46 号	平成 25 年度黒石市追子野木財産区会計予算		○	○	○	原案可決
議案第 47 号	平成 25 年度黒石市温湯財産区会計予算		○	○	○	原案可決
議案第 48 号	平成 25 年度黒石市袋財産区会計予算		○	○	○	原案可決
陳 情 第 1 号	「黒石市立図書館設置条例」の制定を求める陳情		○	○	○	採 択
議員提出議案第 1 号	黒石市議会委員会条例の一部を改正する条例制定について		○	○	○	原案可決
議員提出議案第 2 号	黒石市議会会議規則の一部を改正する規則制定について		○	○	○	原案可決
議員提出議案第 3 号	黒石市議会議員の議員報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例制定について		○	○	○	原案可決

このほか、市長から提出された報告案件 7 件については、5 件を承認し、2 件の報告を受けました。



雪害状況の調査を実施

4月9日(火) 経済建設常任委員会(大久保朝泰委員長)が中心となり、市内3カ所のりんご園地を議員10人で視察し、今冬の記録的な豪雪による被害状況を確認しました。

りんご園では雪の重みで樹木の枝や幹が折れる被害が予想以上に深刻であり、りんご園の修復等に向けた支援が必要であることを強く感じました。

視察後の意見交換会では、被害に遭われた農家の方々の負担を少しでも軽減できるよう、黒石市議会としても市や県に対し訴えていくことを確認しました。

議会豆知識

●一般質問

議員が本会議において、市の行政全般にわたり、事務の執行状況及び将来に対する方針等について所信をただし、あるいは報告、説明を求め、または疑問をただすことです。一般質問は定例会に限っており、臨時会ではできません。

●質疑

議案などについて、疑義をただすために行う発言のことです。質疑はあくまでも賛否または修正などの態度決定が可能となるように不明確な点を明らかにするため行うものであり、議員は自己の意見を述べることができません。

議会を傍聴してみませんか

本会議では、条例の制定や改廃、予算など、黒石市をより暮らしやすいまちにするため、市民の皆さんの日常生活に関連するさまざまな案件を審議しています。

どなたでも傍聴できますので、傍聴を希望される方は、1階庁舎案内または3階議会事務局へお越しください。

受付で住所・氏名・年齢を記入していただきます。



平成 24 年は 2 回の議会報告会を開催しました

■開催状況

第1回 平成24年6月26日(火)
会場 スポカルイン黒石 18:30~20:00

報告内容

○平成24年黒石市議会第1回定例会(3月議会)

- ・平成24年度当初予算の報告
- ・平成24年度重点事業の報告
- ・一般質問の報告
- ・質疑

○出席議員 15名

○出席市民 70名

第2回 平成24年10月27日(土)
会場 スポカルイン黒石 18:00~20:00

報告内容

○平成24年黒石市議会第2回、第3回定例会(6月、9月議会)

- ・平成23年度決算の報告
- ・平成24年度重点事業の経過報告
- ・6月・9月議会一般質問の報告
- ・質疑

○出席議員 15名

○出席市民 50名

〒036-0396

F 電話 0172-537410
A 電話 0172-522129
X 電話 0172-522129

黒石市議会事務局
黒石市大字市ノ町11番地1号

お問い合わせ先

委員 長	大溝 雅昭
副委員 長	佐々木 隆
委員 員	工藤 禎子
委員 員	工藤 和子
委員 員	今井 敬
委員 員	黒石ナナ子

議会だより編集委員会

編集後記

黒石市議会は、昭和29年7月、黒石市の市制施行とともに県内で4番目に誕生しました。

一連の議会改革の中で、初の議会だよりを創刊する運びとなりました。編集委員会をつくり、議会の中身を議員の手でわかりやすく市民の皆様にお届けしたいと思っております。

ぜひ、多くの市民の皆様にご覧いただき、市民の声を聞きながら、黒石らしい市議会だよりを育てていきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いたします。